

— 共に生きよう地域の中で —

# し も だ

港北区障害者地域活動ホームしもだ広報誌

第 63 号



### 目 次

- 1 面 … 新理事長・新運営委員長  
あいさつ
- 2 面 … 多くの皆様に支えられて  
きめ細かな支援④
- 3 面 … 交流室・バザー報告
- 4 面 … なかまたち・休みの日⑦

## 新体制ととのう

# 地域に根ざし より良い支援を

～ さらに飛躍をめざして～



NPO法人げんき  
理事長 小沢 義雄

地域との  
交流を  
大切に

日頃より、当法人の運営にあたり皆様の暖かいご支援ご協力を頂き深く感謝申し上げます。  
今年、6月29日の理事会に於いて、薄井前理事



NPO法人げんき 理事  
活動ホームしもだ  
運営委員長  
片野 芳昭

就任に  
あたって

活動ホームしもだとの出会いは、8年前の地域交流バザーだと思っています。強力な印象として残っているのが、日吉全体で

長年にわたり、活動ホーム「しもだ」運営委員長およびNPO法人「げんき」

長の後を継いで理事長に就任することとなりました。

各館共ここ数年大きな変革があり、現在はNPO法人「げんき」として四館で運営をしています。薄井理事長の熱意とリーダーシップで成し遂げられたと思います。

法人を包む環境は厳しく、今尚課題を抱えています。前理事長のビジョンを忘れず、更に皆様のお力

の協力体制でした。

薄井運営委員長の指揮のもと日吉連合町内会、高田連合町内会、日吉地区社会福祉協議会、日吉地区・高田地区の民生委員の方、地域の学校や商店街、ボランティアの方々、青少年指導員、スポーツ推進委員、リーダークラブ、ライオンズクラブの方々の力が見事なまでに発揮されていたことを思い出します。

これら活動ホームしもだ理事長を兼務してまいりました。薄井前理事長・運営委員長がこのたび退任し、

をお借りして一歩一歩取り組んでいく所存です。

私事ですが、二十年程前に知人の誘いで地域交流バザーに参加いたしました。大変活況で支援者との絆の強さを感じた記憶が残っています。

今後とも地域の皆様との交流を大切に、利用者が楽しく元気に通える活動ホーム「しもだ」の一層の発展を祈念致します。

の職員の方やご家族の方々の熱意に動かされ、年々活動が盛んになってきたのだと思います。

これまで運営委員の一人として、組織の改善や運営の充実に微力ながら参加させていただいたことを嬉しく思っております。

今後とも皆様のお力添えを賜りつつ、一層尽力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

新理事長・運営委員長に交代いたしました。

法人・事業所ともに新体制がととのい、これからもより良い支援をめざしてさらに飛躍していきたいと思えます。

今後とも皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## ボランティア

募集中  
障害者の日中活動を  
支えて！

お気軽にお電話ください  
045-5621-3600



多くの皆様に支えられて

前運営委員長

薄井 芳夫

まだまだ障害者に対する理解が進んでいなかった頃、私自身も福祉に対してはほとんど知識もない状態で運営委員長を引き受けすることになりました。

思いもよらずこれまで長く勤められましたのも運営委員の皆様をはじめ、スタッフや地域の皆様のお力に支えられての

ことと心より感謝しております。

この28年間で、様々なことがあり、社会も制度もおおきく変わって参りました。

私自身もよい人生の勉強をさせていただき、幸せだったと思います。

思いかえすと、目まぐるしく変わる制度の中でも、

しかもの中で活動していた2つの地域作業所と活動ホーム

一本化の取り組みが一番大変であり、話し合いを重ね足かけ5年の月日を要しました。

しかしこれにより、しかもだの事業の基礎ができたと思います。

また、毎年行われる地域交流バザーのイベント

は、地域福祉の土壌づくりに大きく貢献してきたと思っております。

今後とも新しい運営委員長のもとで力を合わせていただき、一層のご発展を祈りたいと思います。



勤続20年の人を表彰

### きめ細かな支援④ 活動する

今回は、障害をもつ方の「活動」についてお話をしたいと思います。

活動ホーム「しもだ」では、障害をもつ方が様々な活動に参加しています。



晴れの日の散歩は気持ちいい!!

障害の重さや、障害の特徴に配慮して、メンバーひとりひとりの「今出来る事」

を大切に、活動内容を決めています。

お菓子作りのような、生産性や納期を伴う作業もあれば、缶回収や缶つぶしで体力を使う仕事もあり、習字や織り物のような、本人の気持が安定していない作りまで様々です。

その中で、右に揚げたような活動に、参加する事が

### 一食の思い

厨房ボランティア

藤田 法子

平成24年の12月から厨房でボランティアをさせてもらい4年半が経ちました。始めたきっかけはスタッフの方に声を掛けて頂いたこと。

もともと料理は好きだったので、約50人分の食事を作った経験はなく、手順や量にしても家庭のものとは違い、驚きの連続でした。

しかし周りのみなさんのおかげで少しずつ慣れていき、2年目には味噌汁の当番をさせて頂けることになりました。

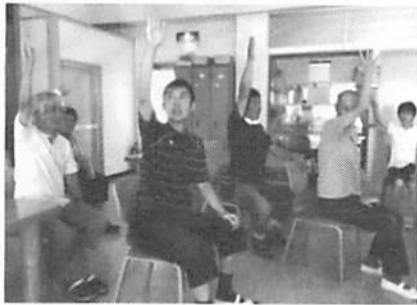
50人分のお味噌汁作り。味噌やお水の量を量り、野菜などの具材を50人分に切る作業。一杯目から五十杯目のお椀まで同じように配膳するのも、頭を使いながら楽しんでいきます。そして、年に一度の

バザーでは400人分の豚汁作りがありました。前日に仕込みを行い当日にガスコンロ、炊飯器をフル回転させスタッフの方と作り上げることは達成感がありました。

また、毎日の朝の会で当日の献立が発表されるのですが、メニューによって声を上げて喜んでくれることも。昼食を楽しみにしてくれている、食後に「おいしかった!」と言ってもらえることがやりがいです。

厨房のボランティアを通じて、たくさんの人と出会え、充実した日々を送っています。まだまだ元気で頑張るぞ!!





体操の時間

難しいメンバーもいます。では、何もしないで一日を過ごしているのでしょうか。それは違います。

「活動する」と聞くと、生産性が重要だと感じる人が多いと思いますが、活動ホーム「しもだ」では生産性では評価していません。

生産性で評価しない

一日の中で、例えばぶきんを運ぶ、配膳のお手伝い、体操をする、外へ散歩に行く、お買い物へ行く等等、出来る事イコール活動する事は、山ほどあります。

「外へ出て何かをする」という活動は、地域の皆様に活動ホーム「しもだ」を知って頂き、地域交流につ

なげていくという、貴重な取り組みの一端も担っています。

心の充実感を

私たちスタッフは、元気に登所して頂き、ケアをして、元気にお帰り頂く事を念頭に、メンバーの心の充実感を最も大切にしています。

誰にでも得意不得意があります。その人が「出来る事」を丁寧に模索し、一緒に楽しみながら見つけていく事は、心の充実にとっても重要です。

そして出来る事を見つけないという事は、実は障害のある無に関係なく、私たちの誰にとっても大切なことなんだ、と言うことを気づかせてくれます。

一見、やっている事がバラバラに見えますが、実は同じ価値で動いているのです。

活動ホーム「しもだ」では、今日もメンバーは元氣いっぱい、それぞれの活動を行なっています。

第29回地域交流バザーの報告

今年も5月21日(日)、第29回地域交流バザーが開かれました。

当日はお天気にも恵まれ、会場はたくさんのお客さんで賑わいました。

今回の総売り上げは、200万円余りとなりました。この売り上げは経費を引き

「しもだ」の運営費の補填などに大切にに使わせて頂きます。

皆様のお力添えがあつてここまで育ってきたバザーですが、障がいの当事者の皆さんの顔がよりよく見えるバザーになっていけるよう、今後も工夫を重ねていきたいと思えます。

準備の段階から本当にたくさんの方に協力頂きました。



交流室

積み重ね

から得

たもの

高田町連合町内会

会長 宮田 寿雄

昨年四月より高田町連合町内会会長をさせて頂いております。日吉地区

小島連合町内会長とは同期と言う事で親しくさせて頂いております。二年

目に入り少し周りの様子が見えて来ましたが、一年目は右も左も判らず大変苦労しました。

連合町内会長として出

席させて頂いた会議の中で、一番強烈な印象を受けたのはしもだバザー実行委員会でした。お隣の地区の催しですが、以前より高田地区も協力させて頂いております。

第一回実行委員会に参加させて頂いた時、役員数・売上目標額に驚かされました。何度かバザー経験は有りましたが、人・物・金すべてが今迄と比べ物にならない程大規模でした。当日バザー会場の熱気は想像をはるかに超えていました。お

天気も良くバザー日和とは言え、会場周辺は人混みがすごく大盛況な一日でした。

深くお礼申し上げます。



後日私は地域の会議総てで活動ホームしもだバザーの様子を話しました。しもだバザーのエネルギーを見習い、高田の町内会活動の中に少しづつ取り込んでいき、地域の催しを盛り上げていくのが私の役目と考えます。二十八回の積み重ねで得たノウハウは一朝一夕には身に付きませんが、回復・継続する事が地域の活性化に結び付くと信じ頑張っています。

これからは「下田」「高田」と地区は問わずポーターレスでお願い致します。



# なかまたち



会部  
5  
そ育  
あ保

## 星に願いを!!

### 七夕制作

7月はじめの土曜活動は、七夕飾りの制作を行いました。七夕飾りは、飾り物によって願い事が変わります。今年はずいぶん短冊に（徳を積む・人間力を高める）子供達が大好きな鈴付き風鈴

+吹き流し（手芸の上達&裁縫の上達）三角つなぎ（裁縫の上達）半月のスイカ（習い事の上達）などを親が願った子供達が制作飾りつけました。

子供達は、のりをベタベタ、シールもベタベタ。スイカの種をクレヨンでトントン。一生懸命作りました。最後に、短冊に思い思い



たのしい七夕の飾りつけ

の願い事や、好きな絵を描き、それらを小さな笹の葉の枝に飾り付けたら完成！部屋の壁に笹を飾り、みんな記念写真を撮りました。親子ともに楽しい七夕制作が体験出来ました。

# 休みの日

山田 宏さん

## ◆のんびり、買い出し

グループホームでの休日は基本的にはまったく過ごすんだ。リビングの窓際がいつものポジションです。

日差しが気持ち良い日にはウトウトしてしまう。時も最近増えたかもしれない・・・。

あまりのんびりし過ぎると夜、寝付けなくなるかもしれないから、よく近くのスーパーまで買い物にも行くよ。自分たちが食べるものや使うものは出来るだけ買いに行っている。

今の時期は車に乗って行くけれど、車内の音楽や周りのにぎやかな音で大きな声が出てしまう時もありま。でもそれが地域で暮らすことだと思ふ。

あとは、普通にご飯を食べて横になったり、近くのコンビニや地域の野菜直売

所まで散歩したりといった感じだろうか・・・。

グループホームでの休日はこんな感じかな。普通の休日を普通に過ごす。それが大事だと思う。



グループホームに入る前は、兄弟はいないのでいつも静かな所に居たせいか、あまりにぎやかな所は好きじゃないんだ。でも入ってからは仲間

や兄弟がいるってこういう事かと分かり、いい時もありま。

活動ホームしもだ 雨天決行!

# 秋まつり

とき: 2017年10月28日(土)

内容: ひとみ座人形劇

11:00~12:00

お楽しみコンサート

14:00~14:45

お菓子・手作り品販売

※雨天時も実施します  
10:00~14:00

入場無料!!

◇ご寄付をいただきました

高橋郷子様、仲田パートナ一様、佐藤正明様、下田福祉協議会様、安齋實様、港北区日吉地区社会福祉協議会様、明治神宮崇敬会様、梅沢峯子様

またバザーでは多くの皆様からご寄附を頂きました。ありがとうございます。

港北区障害者地域活動ホーム 「しもだ」

運営委員長 片野 芳昭  
〒220-0064 横浜市港北区下田町 六三三-118  
☎045-562-3360  
FAX045-562-5991

編集発行 広報部